



# ふたば診療所通信



医療法人社団 支心 事務局 <http://www.shishinn.com>  
〒085-0008 釧路市入江町9番14号  
tel0154(23)3001 fax0154(64)6611  
ブログ始めました。「お散歩ふわりくん」 [ameblo.jp/fuwarikun](http://ameblo.jp/fuwarikun)

facebook随時更新しております  
2016年12月15日 (第15号)



## 「嫁じゃないよ！」



最近、訪問診療で伺った、ある義母さんとお嫁さんのお話です。

一人息子さんは転勤族。

I子さんは一人暮らしをしていましたが、認知症になって一人暮らしが難しくなりました。「環境を変えない方が良い」とのアドバイスに従って息子さん夫婦はI子さんを地元のグループホームに託しました。それでも月に一度は帰省して、お母さんを外泊させて自宅で一緒に過ごしました。

9月、突然 末期癌の宣告を受けました。

病状は重く、しかし治療の効果で落ち着き、退院の許可が出ました。グループホームの方は「最期までうちでみますよ。」

そう言ってくれましたが、昔からずっと仲良かったお嫁さんが旦那さんを一人残して帰省。自宅で介護することになりました。

ほんの短い期間でしたが、好きなものを作り、一緒に食べ、一緒に笑う。そんな当たり前の時間を過ごしました。

病状は突然悪化します。

たった一日で身体は黄色くなり、熱が出て食事も摂れません。肝不全と腎不全。おしっこも出なくなりました。

「無理しなくて良いよ、母さんの最期は病院で見送ってあげよう。」息子さんはお嫁さんにそう言っていました。「迷惑かけるから、入院させて。」I子さんもそう言います。でもお嫁さんは「最期まで、家で義母さんと過ごす。」そう決めました。

病状は一気に悪化し、仕事を抜けられない息子さんが、やっと時間を取り、悪天候の中長時間運転して駆け付けると、その30分後にI子さんは目を落しました。呆然とする息子さんと涙するお嫁さん。

その時、お嫁さんが明かしてくれました。

亡くなる前の夜、意識が薄れていたI子さんが急に目を開け「ありがとう。」そう言ってくれたそうです。その前の夜にははっきりした言葉で寝言を言ったそうです。

「嫁じゃないよ。この子は私の娘だ。」

「あれは私の事を言ってくれたんです。本当に親子みたいだったんです。」

家族は血が繋がっているか、いないか、何年一緒に居たか？なんてそんなに大切じゃないと思います。お互いを想う心が大切なんです。

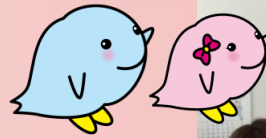


動物好きな谷藤先生。  
柴犬の赤ちゃんを抱いて  
幸せそうです。



# 寒い冬を元気に過ごすために～看護師からのアドバイス～

寒い日が続いておりますが皆様お変わりありませんか？  
冬の間、元気に暮らせるよう、我々看護師からの  
メッセージをお伝えしますね。



空気が乾燥して、風邪などをひきやすいのが冬。  
外出時のマスク使用やうがい、手洗いを行い  
加湿器などで部屋の湿度を保つ事を心がけて下さいね。  
インフルエンザウイルスは湿度を50%以上にすると激減するそうです。  
40%～60%を保持することで感染の予防になると言われています。



また、ノロウイルスも流行りやすいですね。2枚貝を召し上がる際は  
加熱する事をお勧めします。突然の下痢や嘔吐はノロウイルスを  
疑って初期対応を行って下さい。汚物、吐物の処理は使い捨ての  
手袋やガウン、次亜塩素酸での消毒で感染拡大を防いで下さい。

そして、なんといっても沢山のご馳走を食べるのが年末年始。  
食べ過ぎや便秘に気をつけて下さいね。冬は運動不足に  
なりがちですから身体を動かす事を心がけてみて下さい。

年末、年始は通常の病院・薬局もお休みになりますから  
お薬の残数確認や頓服の有無を事前に確認しておきましょう。

6人の侍！..ならぬ6人の  
エンジェル！？  
ふわり訪問看護ステーションの  
6名の看護師です。



それでは、今年もお世話になりました。来年も元気に過ごしましょう。

**ふわり訪問看護ステーション 看護師一同より**



## 私たちにもできるかな？在宅介護教室



日にち：H28年12月17日(土)

時間：10時から11時まで

場所：ホスピス・ケアふわり1階ホール

**入場無料！！ご参加お待ちしております！！**

実兄は余命宣告を受け、自宅で最後を迎えると決めて、半年間在宅療養生活の後、自宅で旅立った。兄の死から半年後特別養護老人ホームに入居していた102歳の母に最期の時が近づいた時、自宅に連れて帰り自宅で看取る決意をした。今回は岩淵芳子様とご家族様にお越し頂き当時を振り返ってみたいと思います。



### <編集後記>

今年も残すところあと僅かとなりましたね。皆様はどんな一年を過ごされましたか？あんなこと、こんなこと色々あったと思いますがこうやって、また一年を終える事が出来ることに感謝です。家族や職場の仲間、友人・・・さまざまな人に支えられたり、支えたりして皆で生きてゆける事。当たり前ですが幸甚な事ですよ。年末・年始は感謝の気持ちを伝えるチャンスがたくさんありそうですね。私も何か感謝の気持ちを表現したいと思います。・・・先日、ある先輩に年末は何かと忙しいけれど少し時間をとって「来年をどんな年にしたいか？」と考える時間を取ると良いよとアドバイスを頂きました。来年の目標を立てる。子供の時はやっていたような気がしますが、改めてやってみようと思います！それでは、皆様 今年もお世話になりました。良いお年をお迎え下さいませ。